

LINN MAJIK
OWNERS MANUAL

MUSIC FOR LIFE

音楽 それは快適な生活のために

音楽は生活を豊かにしてくれます。

しかしそれは、生で聴く演奏や、きわめて高いクオリティで

再生された音楽だけが持っている力です。

そして優れた HI-FI は、様々な音楽の感動、

喜びに触れる機会をふやしてくれます。

LINN HI-FI を通して、生活をもっと快適に、豊かにしてくれる、

たくさんの素晴らしい音楽と出会っていただければ…。

それが私たちの願いです。

LINN MAJIK PRE-MAIN AMPLIFIER

MAJIK はその優れた音質の点だけでなく、使い勝手の点からも前例のないプリメインアンプです。リンの高い技術により、最新の表面実装技術（サーフェス・マウント）を全面的に採用し、マイクロプロセッサ制御や入力切り替えおよび音量調整を半導体スイッチによって行うことが初めて可能になりました。

MAJIK はプリ部出力とパワー部入力が独立しているため、それぞれを別けてお使いいただくことができます。またチューナー・モジュールやマルチアンプ用モジュール、マルチルーム用モジュール等を内蔵させてグレードアップすることにより、可能性を大きく広げることができます。

他のコンポーネントと同様に、MAJIK は優れた入力ソースを用いたときに最高の能力を発揮します。CDプレーヤー、LPプレーヤー、チューナーの性能が向上すればするほど、再生音のクオリティも向上するので

目次

1. はじめに	2
a. 内容物	2
b. ヒューズ	2
2. 設置と接続	2
a. 設置場所	2
b. 接続	3
3. 操作	6
a. 電源	6
b. 入力ソースの選択	7
c. 入力ソースの表示	7
d. 音量調節	7
e. ミュート（消音）	7
f. 録音ソースの選択	8
g. バランス	8
h. モノラルのソースの再生	8
i. レコードロック	9
4. ディスプレイ	10
5. お手入れ	12
6. 一般的なシステムのセッティング	13
7. 仕様	14
8. 保証とサービス	15

1. はじめに (電源を入れる前に)

a. 内容物

MAJIK プリメインアンプ本体

リモコン (このリモコンは他の LINN 製品の基本的な操作も行えます)

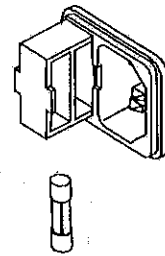
取扱説明書

電源コード

スペアヒューズ

b. ヒューズ

電源コード接続コネクタ左側のヒューズ挿入部フタを開け、6.3A
-100Vヒューズを装着してください。



※できるだけアースをお取り下さい。

詳細は販売店におたずね下さい。

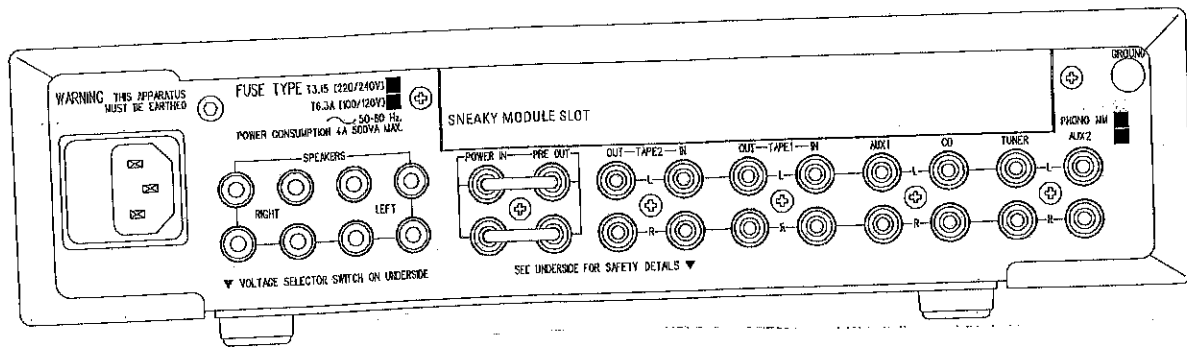
2. 設置と接続

a. 設置場所

- MAJIK はお客様のお使いいただき易いところに設置していただけますが、ごくまれに次のような症状が出る場合がありますのでご注意ください。
- MAJIK には磁束もれの少ないトロイダルトランスを搭載しておりますが、フォノ回路のような非常にデリケートな回路に接近しすぎるとハムが出る場合があります。そのような場合は設置場所を変えてください。
- また、MAJIK はコンパクトなボディにパワーアンプを内蔵していますのでご使用状態で少し発熱します。放熱効果を高め、空気の循環を良くするため、アンプのまわりに数センチのすきまをとり天板の放熱口をふさがないようにしてください。通気状態が良ければMAJIK の作動には問題なく、たとえ保護回路が動作していても温度が下がれば自動復帰します。
- 高感度リモコンを使用していますので、お部屋のどこにでも設置していただけますが、直射日光はお避け下さい。ラック等の色付きガラスはほとんどの場合差し支えありません。
- インバーター用の照明器具は場合によりリモコン機能のついたオーディオやその他の機器の操作に障害をおよぼす場合がございます。また、音質的見地からもあまりお勧めできません。

注意 : ケーブル類の接続は必ず電源を切ってから行ってください。

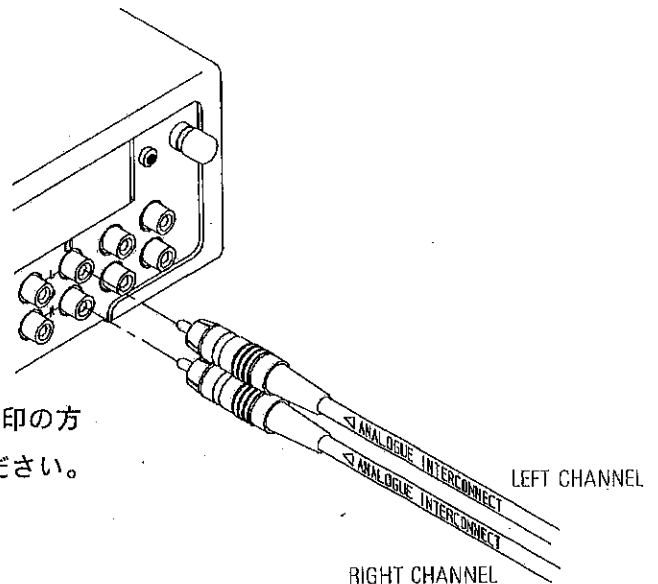
b. 接続



1) MAJIK と入力ソースの接続

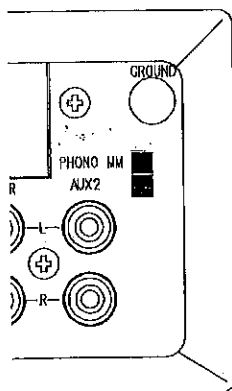
MAJIK には6系統の入力端子があります。できるだけたくさんの端子をお使いになってみてください。CDプレーヤー、LPプレーヤー、チューナー等の音楽ソースはもちろんですが、TV、ビデオ、衛星放送等からの出力も接続なさってみてください。映像をより一層お楽しみいただけるようになるでしょう。接続に必要なケーブル類はリン販売店で取り扱っております。

すべてのMAJIK の入力端子はRCAピン端子です。左右チャンネルを間違えないように配線してください。



※ LINNのピンコードには方向性が表記されています。矢印の方向が入力ソース から MAJIK へ向かうように接続してください。

2) LPプレーヤーとの接続



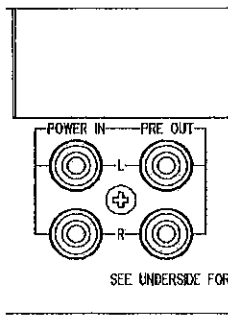
MAJIK-P は、LPプレーヤーを再生するフォノ回路が搭載されています。

LPプレーヤーのアース線をフォノ端子上方のねじ式端子に接続し、ピンプラグを入力端子に接続してください。MAJIK-Lにはフォノ回路は接続されていません。その場合リアパネルのAUX2欄にマークがしてあります。

3) テープデッキとの接続

MAJIK には2台までテープデッキを接続できます。MAJIKのT A P E 1 I N端子は1台のテープデッキの再生 (P L A Y) 端子と、T A P E 1 O U T端子は同じテープデッキの録音 (R E C O R D) 端子とそれぞれ接続してください。もう1台のテープデッキをお使いになるときも同様に接続してください。

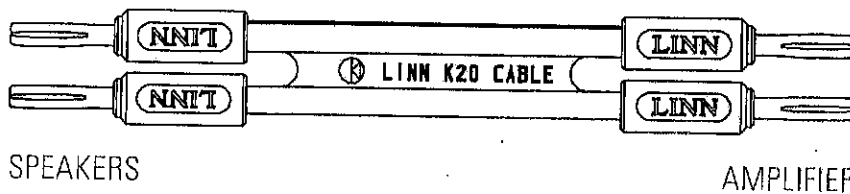
4) 他アンプと共に使用する場合



MAJIK のプリ部とパワー部は完全に独立しています。そのためシステムをLINN KAIRN や LINN KLOUT のようなより高品位なアンプを購入することによってグレードアップできます。

- MAJIK を他のパワーアンプと組み合わせてプリアンプとして使用するには、PRE OUT端子とPOWER IN端子を接続しているリンクを外してMAJIK のPRE OUT端子とご使用になるパワーアンプの入力端子とを接続してください。
- MAJIK をパワーアンプとして使用するには、上記のリンクを外してお持ちのプリアンプの出力端子とMAJIK のPOWER IN端子とを接続してください。
- MAJIK に他のパワーアンプを追加することによって複数アンプでの駆動やマルチアンプシステムを構成することができます。LINN LK100、KLOUTとMAJIK のパワー部は同一ゲイン (28.5dB)で設計されていますのでどのような組み合わせも可能です。詳細はリン販売店までお問い合わせください。

5) スピーカーとの接続



MAJIK は LINN KNEKT バナナプラグを用いてスピーカーシステムと接続します。その際 K20、K400のような高品質のケーブルのご使用をお勧めします。MAJIK は、LINN TUKAN、KEILIDH のようなバイワイヤリング対応型スピーカーのために2系統の出力端子が設けられています。バイワイヤリングが可能なスピーカーシステムはバイワイヤリングで駆動することによってさらに高い性能を発揮します。

リンのスピーカーケーブルには方向性があります。方向性を正しくお使いいただくことによって製品が活かされます。リンのスピーカーケーブルには製品名が刻印されていますので、上図の様に接続してください。

6) ヘッドフォンとの接続

フロントパネルに設けられたジャックにヘッドフォンをおつなぎください。MAJIKのヘッドフォンジャックにはパワーアンプからではなく専用のヘッドフォンアンプからの音楽信号が出力されていますので非常に高いクオリティの音楽を楽しんでいただけます。

ヘッドフォンだけで音楽を楽しまれるときには、SPEAKER と印字された2つのボタンを同時に押しいただくことにより、パワーアンプをミュートすることができます。

マルチルームシステム

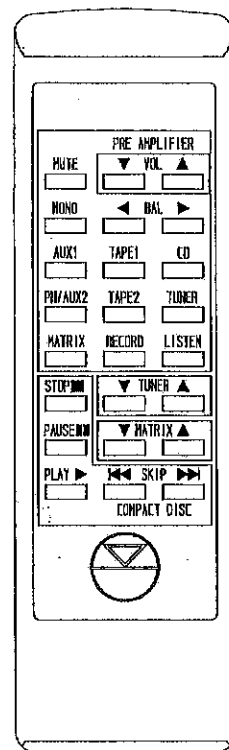
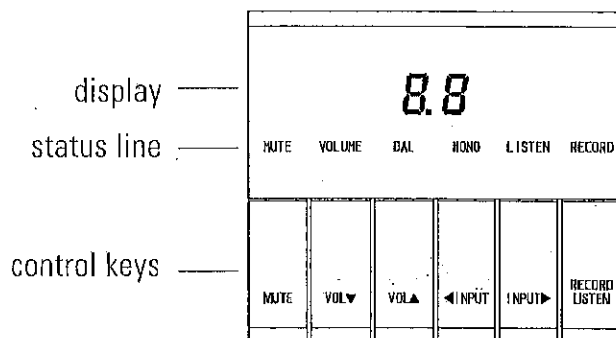
MAJIK を核としたマルチルームシステムをお持ちの場合は、LINN KNEKT システムの取扱説明書をご覧ください。マルチルーム用にオプションが付加されますと MAJIK の操作が一部変更するところがあります。その場合、この取扱説明書においては欄外に次のシンボルマークの表記があります。



3.操作

他の LINN 製品同様、MAJIK もフロントパネル、リモートコントロールを用いて簡単に操作できます。

(フロントパネル操作では、使用頻度に応じて2つのボタンを同時に押す必要のある操作もございます。操作の簡便なリモートコントロールによる操作をお薦めします。)



a. 電源

1) 電源を入れる

POWER(パワー)ボタンを押す。

緑のライトが点灯、約3秒後に LISTEN(リッスン)インジケーターが点灯し、ディスプレイが"CD"を表示。

(MAJIK はスイッチON時に入力ソースとしCDを、音量30で演奏するよう設定されています。)

2) 電源を切る

もう一度 POWER ボタンを押す。

注意:新機能を用いる際に操作方法がわからなくなった時はスイッチを一旦切ってください。ご使用にならない際にはスイッチを切っておくことをお勧めしています。

注意:消費電力低減のため、MAJIK のディスプレイは操作後約30秒を経過すると、"ー"表示となります。

(表示を継続させることもできます。くわしくは販売店にご相談下さい。)

お聴きになるソースを ◀INPUT、INPUT▶ ボタンを押して選択します。ひと押しでひとつ、押し続けた場合には連続して以下の順序で入力ソースが切り替わります。

MAJIK P

→CD↔Aux↔TAPE 1↔TAPE 2↔Phono↔TUNER↔

MAJIK L

→CD↔A 1↔A 2↔TAPE 1↔TAPE 2↔TUNER↔

ディスプレイは選択された入力ソースを表示し、**LISTEN** 表示が点灯します。音量をフェードアウトし入力ソースを切替え、フェードインしますのでほんの少しのタイムラグがあり、その間 **LISTEN** インジケーターが暗くなります。お聴きになっている音量が小さければ、タイムラグは小さくなります。

c. 入力ソースの表示

ディスプレイ表示が "—" あるいは音量数字表示のとき、**LISTEN** キーボタンを、ひと押しします。**LISTEN** インジケーターが点灯し、演奏中の入力が表示されます。

d. 音量調節

▲ **VOL** あるいは ▼ **VOL** キーボタンを押して好みの音量に調節します。**VOLUME** 表示が点灯し、0から60の間で1ステップごとにディスプレイされます。8ステップ目からは音量が1dbづつ調整できる設計になっています。

e. ミュート(消音)

1) ミュートする

MUTE ボタンを押します。フェードアウトされ、**MUTE** 表示が点灯します。スピーカー、ヘッドフォンとも消音状態となります。

2) ミュートを解除する

A) **MUTE** キーをもう一度押す。**MUTE** 表示が消え **MUTE** される前の音量がディスプレイされ演奏状態に復帰します。

B) ▲**VOL** あるいは ▼**VOL** キーボタンのいずれかを押す

f.録音ソースの選択

- 1) RECORD ボタンを押します。
RECORD インジケーターが点灯しその時点で録音できる入力ソースが表示されます。
- 2) リモコンのCD、TUNER、TAPEボタンを用いて録音するソースを選択してください。

本体パネル操作：◀ INPUTあるいはINPUT ▶ ボタンを使って録音する入力ソースを選択してください。選択された入力ソースが2系統の TAPE OUT 端子に出力されます。

※録音しながら別の入力ソースを聴くこともできます。

LISTEN ボタンを押してから、お聴きになりたい入力ソースを ◀ INPUT あるいは INPUT ▶ ボタンを使って選択してください。録音する入力を変えるときは RECORD ボタンを押して選択してからもう一度ソースを選択しなおしてください。

g.バランス

- 1) バランス表示にする
◀ BAL BAL ▶ の印字のあるキーボタンを押します。BAL インジケーターが点灯しディスプレイはバランス表示となります。

左のみ	中央	右のみ
9-	00	-9

- 2) 左右のバランスを変更する
バランスを変えたい方向に ◀ BALあるいはBAL ▶ ボタンを押します。
- 3) バランス調整の解除
LISTEN、◀ INPUTあるいはINPUT ▶ ボタンを押すとそれぞれのモードに戻ります。

h.モノラルのソースの再生

- 1) モノラル再生にするには
MONO ボタンを押します。
MONO インジケーターが点灯しモノラル動作を継続します
- 2) モノラル再生を解除する
再びMONO ボタンを押します

i.レコードロック

KNEKT (クネクト) マルチルームシステムが作動している際にはINPUT ▶、RECORD キーを同時に押してください。これによりMAJIK に対するリモートコントロールが解除され他の部屋からリモコン操作されることにより録音が邪魔されることを防止します。RECORD の文字がゆっくりと点灯しRECORDがロックされたことを示します。録音が終了したら、INPUT ▶、RECORD を再び同時に押してください。リモートコントロールが再開され、RECORD の文字は点灯を止めます。KNEKT システムなしではこれらのボタンは作動しません。

4.ディスプレイ

操作されたように MAJIK が機能しない際は、間違ったボタンを押している可能性があります。まず、ご確認ください。その際一度 MAJIK のスイッチを切ってもう一度スタートさせることも、もちろん可能ですが、以下のディスプレイの表示を御確認下さることをお勧めします。

MAJIK は、音量調節、バランス機能、入力切替、録音出力切替、の4種類のモードから一つを選択してコントロールすることができます。いずれのモードを選択していても、ミュートおよびモノラル動作を機能させられます。

- MUTE** MUTE 点灯時、MAJIK は消音状態です。スピーカー、ヘッドフォンとも音はでません。
MUTE キーボタンを押して解除します。
- VOLUME** VOLUME 点灯時、MAJIK は音量を調節します。▲VOL、▼VOL キーボタンを押すと音量と表示の数字が増減します。(ミュート状態にある時はどちらのVOLキーボタンを押してもミュート以前の音量に復帰します。)
- BAL** BAL 点灯時、MAJIK は ◀BAL、BAL▶ ボタンのどちらか一つを押して左右のバランスを調整します。
MAJIK がミュートの状態のときは、どちらのBALボタンを押してもミュートが解除されます。
- LISTEN** LISTEN 点灯時 MAJIK は入力ソースの切替を行います。お聴きになる入力ソースを、◀INPUT、INPUT▶ ボタンを押して選択します。LISTEN モード状態の時 RECORD キーボタンを押しますと、MAJIK は録音出力切替が行えるようになります。
- RECORD** RECORD 点灯時、MAJIK の録音状態を切り替えることができます。◀INPUT あるいは、INPUT▶ ボタンを押すとディスプレイ表示が切り替わり、表示されている入力ソースがTAPE OUT端子から出力されます。
RECORD の点灯は MAJIK が RECORD-LOCK モードにあることを意味します。この状態のとき、他の部屋からのリモートコントロールには反応しません。RECORD-LOCK モードをキャンセルするには、INPUT▶ と RECORD のボタンを同時に押してください。
- MONO** MONO 点灯時 MAJIK はモノラル動作中です。ステレオ状態に復帰させるには MONO の印字のある2つのキーボタンを同時に押します。
- MAJIK のどのキーボタンも約30秒間経過した時点で待機状態となりディスプレイには"—"—が表示されます。ディスプレイを復帰させるもっとも良い方法は▲VOL、LISTENボタンを押すことです。その後ディスプレイ表示によって動作状態を確認することができます。

ご注意いただきたいこと

1) 不可抵抗

MAJIK でインピーダンス8Ωのスピーカー2組、あるいは4Ωのスピーカー1組を駆動することができます。4Ωのスピーカー2組を駆動することもできますが、使用音量状態によっては過電流保護回路が作動することがあります。しかしこれによってMAJIK が故障することはありません。

2) 保護回路

MAJIK には過電流と加熱に対する全自動の保護回路が搭載されています。保護回路が作動しますとパワーアンプが自動復帰するまで信号がミュートされ、自動復帰すると数秒後にミュートが解除されます。その際は過負荷にならないように音量が1dB下げられてセットされます。それでも過負荷になった場合はさらに1dBステップダウンし、保護回路の作動しない領域まで動作を繰り返します。

3) 初期設定の変更

MAJIK の初期設定は次の4通りに変更することができます。(かならずリン販売店にご依頼下さい)

- ディスプレイを常時点灯状態にする。
- スイッチON時の音量を30から15にする
- 保護回路作動時に音量が減衰しないようにする。
- MAJIK のプリ部だけを単独で使用する場合、パワーロスを最小限にするためパワー部を動作しないようにする

4) 位相

MAJIK のプリ部は入力信号と同相の信号を出力します。スピーカーケーブルは通常通り極性をそろえて接続してください。

5) MAJIK の可能性の展開

MAJIK はユーザーの必要性の発展と予算に応じて、長期間にわたるアップグレードが可能ないように設計されています。MAJIK のリアパネルにはモジュールを追加するためのスロットがあり、スニーキーと名づけられた一連のモジュールが内蔵できるようになっています。

KNEKT (クネクト) スニーキーを追加してご家庭内におけるマルチルームシステムとして、機能を拡張することができます。リン販売店でその可能性に触れてみてください。

6) 誤動作の原因

コンピューターのモニター画面やインバーター式の蛍光灯の中にはリモコンの赤外線センサーに影響を与えたり、誤動作の原因となるものが極まれに存在します。万一そうした事項が発生した場合は販売店までご相談下さい。

5. お手入れ

MAJIKのお手入れ

ホコリや指紋は固く絞った清潔な布で取り除いてください。

家庭用洗剤類の使用はお控えください。

ヒューズ: MAJIK のリアパネル電源ソケット部にヒューズホルダーがあり、スペアヒューズも収納できます。

※MAJIK は長寿命を前提として設計されており、LINN 販売店によって継続してサービスが受けられます。

6. 一般的なシステムのセッティング

ターンテーブル：最も望ましいのはターンテーブルを小さく、軽く、しっかりした台の上に置くことです。壁つけタイプのラックを利用する際も同様です。

CDプレーヤー：MIMIK KARIK は水平な場所に設置してください。相互に外乱を与えないように設計されているので、KAIRN、KREMLIN、NUMERIK と積み重ねて使用することもできます。

パワーサプライ：信号ケーブル、ターンテーブルやプリアンプ類と、接近させすぎないように設置して下さい。

アンプ：プリアンプとパワーアンプを接近させすぎるとハムを誘導することがあります。ハムのでない場所に設置してください。

スピーカーシステム：スピーカーシステムはしっかりとしたスタンドにきちんとマウントして、ぐらつく要素をなくさなければなりません。

接続ケーブル：機器間の接続には良質の銅製ケーブルを、スピーカーコードにはK20 のような4mm²の銅製多芯線をご使用下さい。LINN 販売店には、コンポーネントを接続するために良質のケーブル類が用意されています。

接点クリーニング：HI-FI システムにおいては電氣的接点が汚れのないものであることが重要です。時々プラグを抜き差しすることによって効果的に接点クリーニングをすることができます。

※ 接点クリーニングは、電源を切ってから行ってください。

7. 仕様

寸法	幅	:	320mm
	奥行き	:	326mm
	高さ	:	80mm
	重量	:	4.9kg

消費電力 320VA (MAX) 25W (アイドル時)

電源、ヒューズ AC100V、6.3A

許容電源電圧 100±10V (性能に影響なし)

プリアンプ部

[以下の感度はラインアウト 0.7Vrms (1kHz 2kΩ 負荷) 出力時]

入力	感度	負荷
MM:	3.1mVrms	47kΩ/68pF
TUNER/CD/AUX/TAPE:	300Vrms	10kΩ

出力

テープアウト AUXインプットレベルと同等時

出力インピーダンス 100Ω

最小負荷 5kΩ

ラインアウト 出力インピーダンス 200Ω

最小負荷 1kΩ

ヘッドフォン 出力インピーダンス 8Ω

出力レベル プリアウトと同等

最大出力電流 60mA

負荷インピーダンス 8Ω~2kΩ

パワーアンプ部 入力インピーダンス 11kΩ

増幅度 28.5dB

入力感度 592mVrms

(16.2Vrms出力時/33W8Ω負荷)

最大出力 66W/CH (4Ω負荷)

33W/CH (8Ω負荷)

8. 保証とサービス

アフターサービス

製品に対するお問い合わせは正規販売店に御相談ください。なお、許可なく改造や修理をされた場合には保証書によるお取り扱いができないことがあります。御不明の点は最寄りのLINN販売店にご相談ください。

- 1 ご利用いただく前に必ずオーナーズマニュアル（本冊子）にて安全な利用方法をご確認下さい。
- 2 後々のご利用のため、マニュアルは必ず捨てずにお持ちください。
- 3 マニュアルには様々な注意点が書かれています。必ずそれらを守ってご使用下さい。
- 4 マニュアルの使用方法に従って製品をご利用下さい。
- 5 水の近く、例えば浴槽、洗面所、洗濯機等の近くに設置しないでください。
- 6 販売店のお勧めするスタンドをご使用下さい。
製品を可動式台に設置してのご利用は注意深く行ってください。急に動かしたり、平らでない面に置いたりすると転倒の原因となります。
- 7 壁面、天井への据えつけは販売店にご相談ください。
- 8 製品には換気が必要です。ベッド、ソファ、などの換気を妨げるものの上への設置、または埋込式設置、キャビネットのなかへの設置などは、製品の換気を妨げますのでなさないでください。
- 9 製品は熱を嫌います。ラジエーター、ヒーター、ストーブなど熱源のそばに設置しないでください。
- 10 マニュアルに記載、もしくは製品に記された電源にのみ接続してください。
- 11 製品には必ずアースをおとりください。また、ケーブルの極性にご注意ください。
- 12 コードは製品につぶされないようご注意ください。またプラグ、ソケット、製品との接点にはご注意ください。
- 13 製品はオーナーズマニュアル（本冊子）または販売員のお勧めする方法に従ってクリーニングを行ってください。
- 14 電源ライン付近にアンテナを設置しないでください。
- 15 チューナー／レシーバーに屋外用アンテナを取り付ける際には、急激な電熱変化、静電気の蓄積を防ぐためにアースを取り付ける必要があります。
- 16 長期間ご使用にならない場合は、差し込み口からプラグを抜いてください。
- 17 製品の内部にものや液体が入らないようご注意ください。
- 18 以下のような症状が発生したら、販売員までご連絡下さい。
 - a) 電源コード、もしくはプラグが破損したとき
 - b) 製品の内部にものが入った場合
 - c) 製品がぬれた場合
 - d) 正常に作動しなかったり、演奏中に表示が変わったりした場合
 - e) 製品が落下したり、内部に損傷が生じた場合

リンの製品は、お買い求めになった国の条件の元に保証をされております。規定の条件に加え、製造段階における瑕疵があった場合には、どの部分でも部品交換いたします。円滑な保証と修理をお約束するためにも、保証登録申込書のご記入とご返送にぜひご協力ください。（ご返送先：株式会社リン ジャパン）

お送りくださった方には、製品についての情報を掲載したリンのニューズレター「RECORD」およびレコード、新製品について紹介する「SELEKT」をお送りさせていただきます。

注意

リンの製品の修理は、リン特約店にお任せください。特約店以外の修理や部品交換等をなさいますと、製品保証が出来なくなりますのでご注意ください。

お手持ちの製品について御不審な点がございましたら、最寄りのリン販売店までご連絡下さい。

* 領収証は御購入日確認のため必要です。大切にお持ちください。

* 修理のための運搬時の破損はお客様御負担とさせていただきますのでご注意ください。

総輸入代理店

株式会社 リン ジャパン

フリーダイヤル:0120-126173